

新型コロナワクチンってどんなワクチン？

5歳以上のおみなさんは、**新型コロナウイルス**を受けることができます。
おかあさん、おとうさん、おうちのひとといっしょに、この説明を読んで、
ワクチンを知っておきましょう。

どうしてワクチンを受けるの？

ウイルスが体にはいつても、**病気(新型コロナウイルス)**にかかりにくくなります。
もしかかって、**病気**がおもくならず、**治り**やすくなります。

ワクチンにはどんな効き目があるの？

私たちの体には、一度はいつてきたウイルスを覚えておき、次にウイルスが入ってきてもすぐに治すための働きをする仕組みがあります。
ワクチン打つことで、ウイルスが入ってくる前に、ウイルスのことを体に教えることができます。

ウイルスのことをはじめから知っていることで、すぐに治すための働きができて、**病気**にかかりにくかったり、かかっても**治り**やすくなります。
体がウイルスのことをしっかり覚えるまでには、ワクチンを2回打ってから7日くらいかかります。

ワクチン打った後守ってほしいこと

- ①しばらくはすわってゆっくり待ってね。
- ②注射したところはさわらないでね。
- ③注射打った日は、運動はしないで、ゆっくり過ごしてね。

ワクチン打った後に出るかもしれない症状

- 注射したところの痛み、赤み、はれ
- 頭痛、げり、体が痛い・重い・だるい
- 寒気がする、お熱がでる(37度以上)

むねがドキドキする、息がしにくい、手や顔がぷくりとはれる

「なにかいつもと違うな」と思ったら、すぐに周りの大人の人に伝えましょう。



さつてし 幸手市マスコットキャラクター さつちゃん

保護者の方へお伝えしたいこと

お子さまの新型コロナウイルス接種には、**保護者の方の同意・立ち合い**が必要です。
予診票に必要事項を記載し、ワクチン接種に対する同意のサインをお願いします。
また、**ほかの定期接種のワクチンとの接種間隔**などについては、あらかじめ医師へご相談ください。小児の予防接種記録は母子手帳で管理しているため、接種の際には**必ず母子手帳**をご持参ください。

ワクチン接種の前に気を付けること

- ①お子さまに基礎疾患があるなど、ワクチン接種についての疑問や不安がある場合は、あらかじめかかりつけ医にご相談ください。
- ②接種の日は体温を測定し、その他、お子さまの体調に変化がないかを確認してください。
- ③アレルギー疾患や他の医薬品でアレルギー反応の経験がある、食物アレルギーがある場合は、「何」に対して「どのような」症状が出たのか伝えてください。
※伝えた結果、医師の判断で接種を見合わせる場合もありますが、お子さまの健康を守るためにも必ずお伝えください。
- ④新型コロナウイルスの接種は義務ではありません。
今回のワクチン接種について不安がないか、緊張がないかなど、お子さんとしっかり話し合い、接種の際にもお子さまへの声掛けや、注射針を見ないようにするなど、不安や緊張を和らげるような対応をお願いします。

ワクチン接種の後に気を付けること

- ①血管迷走神経反射(緊張等によって起きる反応)により、失神が現れる場合があります。症状が出た場合、横になることで回復するものですが、倒れることで頭を打たないように、お子さまの様子を観察をお願いします。
※顔色が悪くなる、冷や汗をかく、落ち着かなくなる、ムカムカする、声が聞こえづらくなるなどの症状にご注意ください。
- ②アナフィラキシーの症状が出る場合は、多くは接種直後から30分以内といわれています。皮膚のかゆみやぶつぶつができる、目が見えにくい、お腹の痛みや吐き気、息苦しいなどの症状が見られる場合は、速やかに医師や看護師に伝えてください。
- ③ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあります。
胸の痛み、動悸、むくみ、倦怠感、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、速いなどの症状がお子さまにみられる場合は、速やかに医師の診察を受けてください。